

日本環境感染学会教育委員会主催

医療疫学トレーニングコース 集団発生調査編 実施概要

2017年5月30日

本トレーニングコース全体の目的は、医療関連感染に関する疫学と集団発生（アウトブレイク）の原因調査に関する知識を備えた病院疫学者を育成することです。従来の集団発生調査編コースに加え、集団発生調査時に必要となる疫学と統計学の基礎的知識を修得することを目標とした基礎編コースを実施しています。集団発生調査編の実施概要を以下に示します。

目標：本トレーニングコース修了時点で、受講者は

1. 医療関連感染の集団発生調査に必要な医療疫学ならびに統計学の基本的知識を説明できる。
2. 集団発生の原因調査の手順に関する知識を説明できる。
3. シミュレーション演習を通し、集団発生調査のデータの解釈の仕方、原因探究の実際のプロセスを述べるができる。

注：本トレーニングコースは、集団発生の現場対応の実際を習得することを目的とはしていない。

開催日時ならびに会場：

2017年11月18日・19日（土曜日・日曜日）

東京医科歯科大学（東京都）

募集人数：40名（なお、応募多数の場合の参加者については委員会に一任いただきます。応募資格や地域性等を考慮し調整させていただきます）。

募集時条件：（以下の3つを満たしていること）

- ① 日本環境感染学会の会員であること
- ② 医療関連感染対策の分野における臨床での活動経験（3年程度）があること（どのような活動経験か、具体的にお書きください。例 ICT 歴3年）
- ③ 疫学・統計学に関する強い関心があること
- ④ ノートパソコンを持参できること

参加費：2万5千円（情報交換会会費込み）

タイムスケジュールおよび内容：

第1日目（11月18日）

8:30～ 受付開始。

8:50～ オリエンテーション。

9:00～12:00 疫学・統計学(1) 医療関連感染の集団発生時の原因調査に必要な疫学ならびに統計学に関する基礎知識を学習する。集団発生に関する文献例も提示する。

13:00～15:30 Outbreak Investigation(1) 外科系病棟におけるセラチア菌血症の集団発生

事例を取扱う。時、人、場所の情報などを整理し、疫学的アプローチによって事例の真相に迫る。興味深い結末が待っている。

15：50～17：00 最近報告された医療関連感染の集団発生事例の紹介。

17：00～17：15 写真撮影

17：30～19：30 情報交換会（希望者のみ。コース申し込み時に希望を確認する。）

第2日目（11月19日）

8：30～10：30 疫学・統計学(2) 前日学習した疫学ならびに統計学の知識をもとに、文献の批判的吟味を実施する。（批判的吟味に使用する文献は、第1日目に配布する予定である。）

10：45～12：00 疫学調査に必要な統計演算演習 計算式を用いて、医療疫学の基本的な統計処理に必要な演算を学ぶ。

13：00～16：45 Outbreak Investigation(2)

救急救命センターICU（集中治療室）で発生したMRSA保菌集団発生事例を小グループに分かれて検討し、集団発生の原因を探る。検討結果を発表し、参加者全員で討議する。また集団発生の解析で重要な分子疫学ツールであるPFGE（パルスフィールドゲル電気泳動法）についても解説を加える。

16：45～17：00 総括、修了書授与。

17：00 解散。